



Co-advance-
Combination
Coordination
Communication

2024年度活動報告 (8月度)

椿油産業保全への取組 「椿油生産地でのサポート活動 in 利島」

日程：2024年8月3日(土)～5日(月)
場所：東京都利島
作業参加者：利島農業協同組合ならびに島民の皆様
「NPO法人国際ボランティア学生協会」
(International Volunteer University
Student Association 略称 IVUSA)
「カナダ」社員 計30余名 (敬称略)

2024年8月、昨年に続き、大学生ボランティア団体 IVUSA30名による東京都利島での「夏の椿林整備」ボランティア活動が実施されました。
当事業は、カナダが声掛けをし、「椿油産業保全」の理念のもと「椿油生産量全国一位を誇る利島の生産者に何らかのサポートをしたい」という考えに賛同頂けたIVUSAとともに、2013年活動を開始した事業です。
「利島 夏の椿林整備ボランティア活動」は、コロナ禍時期に一旦休止した時期もありましたが、学生は代を繋ぎ、継続して実施をしています。今やこの取り組みは、延べ累計約550名参加という規模にまで発展しています。

当社社員も参加しての椿林での作業

本年もカナダは協賛支援のほか、一部日程にて、作業に参加しました。現地でのIVUSAの大学生との協働作業、村長、農協、IVUSAの皆様、それぞれとWebミーティング・意見交換会等を実施し、色々なかたちでのコミュニケーションをはかり、親交を深めました。

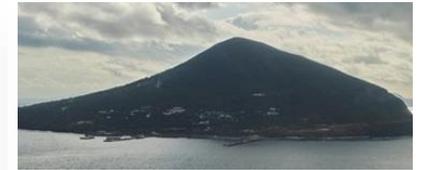
大学生に代々引き継がれ、継続してきた活動

3日間に及ぶ「キッパライ」作業は今夏も一定の成果を得て無事に終了しました。又、これまでは夏の活動が中心でしたが、10年以上の継続を経て、本年は試験的な試みとして、『椿の実収穫作業ボランティア』を小規模ながら初めて11月に実施したとの報告もありました。

利島でのボランティア活動を推進しておられる関係者の皆様、並びに本活動に賛同し参加頂けた「NPO法人国際ボランティア学生協会 IVUSA」様に、心より感謝を申し上げます。有難うございました。

8月・11月とボランティアに参加された大学生による「IVUSA利島活動記録」がブログとしてアップされていますので、以下にご紹介します。

[IVUSA利島活動記録](#)



生産者とIVUSA大学生と
カナダ社員



IVUSA隊員と共に当社社員も参加した作業の風景



刈った下草、熊手で集めた落ち葉などをその場で燃やすと
椿林が白い煙に包まれるほどの光景となる。